

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名:多機能型通所支援事業所 心(放課後等デイサービス)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		・狭い場合は、第2訓練室を使用している。(2人)	厚生労働省が定める設置基準を満たしています。多機能事業所である為、利用者が多数の場合は、第2訓練室を使用しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			法令を遵守し、必要人員を配置した上で、必要に応じて更に職員を配置するよう心がけています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			一般住居を施設として使用していますので、完全なバリアフリーではありませんが、可能な限り、利用者様が利用しやすい環境づくりを心がけています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			事業所内で会議を行い、スタッフ間の情報交換を実施し、目標を再確認しています。PDCAとは少し違いますが、問題点がでた時は話し合い、対策を行い改善に努めています
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			アンケート結果に基づき、支援に活かしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			心だより及びホームページにて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		100%		改善につなげますが、現在外部評価は行っていません。必要に応じて外部評価を実施したいと考えています。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%		研修会などを行っている。(4人)	事業所内で、職員が様々な研修に参加し、スキルアップ出来るように、定期的に職員研修を企画し、実施しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			6か月に1度モニタリングを行い、保護者様の意向を伺い、個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			当法人独自の標準化されたアセスメントツールを作成し、使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			年間活動計画、各月活動プログラムを2チームで分担し、立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		・ケースカンファレンスをミーティング時に行っている。	具体的な活動内容は、インターネットなどを利用しながら、新奇な内容を取り入れるようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%		・毎日の予定を組み、行っている。(3人)	意欲的に、楽しく参加できるよう工夫し、療育活動を取り入れています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		・個別指導を行っている。	児童の日々の精神状態・健康状態を観察しながら、個人活動、集団活動を工夫しながら取り入れています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		・出勤スタッフで申し送りをを行い、確認している。(2人) ・申し送りにより確認している。 ・出勤スタッフ全員で連絡を受け、確認している。 ・ミーティング時、申し送りを実施。	始業前ミーティングを毎日実施し、支援内容、役割分担、送迎分担の確認、情報交換等を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		・記録し、確認している。	支援終了後、管理者に報告しています。翌日のスタッフミーティングで、支援について気付いた点等、情報交換を行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			個別支援計画書に基づいて支援を行い、記録を取っています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			半年に1度、モニタリングを行い、個別支援計画書を作成しています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%			定期的にプログラムの見直しを行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%			担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%		・口頭説明後、記録ノートに記入しておく。 ・学校からの申し送りを聞き、個人ノートに記入している。	学校の送迎時に先生から伝達事項を聞き取り、確認しています。トラブルがあれば学校に連絡し、適切な支援を行うよう努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	100%		・連絡し、確認の上、変更を行っている。(2人) ・変更あった場合等、連絡を行っている。	主治医、かかりつけ医との連絡体制を整えて、医療的ケアを行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			年に1度の担当者会議に参加し、情報共有と相互理解を図っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100%			移行支援会議に参加し、情報共有と相互理解を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%			現在はその機会がありませんが、交流の場や機会を設けるよう、創意工夫しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		100%	・コロナ禍の為、行えない。(7人)	現在はその機会がありませんが、交流の場や機会を設けるよう、創意工夫しています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		100%		必要に応じて責任者が参加している。業務の都合上参加できない事もある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	89%	11%	・送迎時に、今日の様子を伝える。(2人) ・送迎時に行っている。	連絡ノートによる文字での伝達、送迎時の口頭での伝達、また必要に応じて保護者との面談を行っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		100%		ペアレントトレーニングはその内容が発達や知的障害を主とするご家族向けのものであり、重心の方向けではありませんで行っていません。必要に応じて保護者との個別面談等、ご家族からお話いただければ可能な限り相談ののっています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に、重要事項説明書によって、丁寧に説明しています。また、運営規定は玄関に掲示し、情報を開示しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		・ラインで情報交換をしている。	子育ての悩みに対する相談には、随時対応しています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	89%	11%		現在、父母の会や保護者会等の活動は行っていません。要望があれば、関係機関と連絡を取り合いつつ、実施したいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		・責任者がラインで対応している。	ご意見をいただいた際には、迅速かつ適切に対応していくと共に、事業所内、職員間で情報共有し、周知徹底を図っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		・月1回、会報を保護者に配布。	年4回発行の季刊紙「心だより」にて、活動内容や行事予定等、情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			書類や写真の保管については、厳重に管理しています。職員にも周知徹底しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			利用児童や保護者様が理解しやすいコミュニケーション、情報伝達を心がけ、適切に対応する努力をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	89%	11%		現在は行っていませんが、今後検討していきたいと考えています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作成し、職員に周知しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		・毎日行っている。(3人) ・月1回行っている。	火災避難訓練、地震避難訓練、救命救急講習会を実施し、職員研修を実施しています。今後は、保護者の方の参加を要請し、「引き渡し訓練」の実施を考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			虐待防止委員会を設置し、年に1度、全職員参加のもと、研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%		・前例なし。必要あれば、原則に従う。	責任者、職員間で、十分な検討を重ねた上で、「身体拘束同意書」にて保護者様に説明しています。また、その旨を「個別支援計画書」に記載して、随時説明しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%			契約時に、アレルギー表に記入していただき、随時更新しながら、職員間で情報共有し、対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			インシデント・アクシデントの書式を作成しています。このような事例が起こった際には、当該職員が記入し、情報共有を行うと共に、改善策を検討しています。